

2018年3月期 第3四半期 決算実績 概況資料

2018年2月8日

株式会社西武ホールディングス（9024）
<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2018年3月期第3四半期までの
主な取り組み

P6

III. セグメント情報及び営業指標

P8

IV. 決算実績詳細

P21

V. 2018年3月期 業績予想

P25

2018年3月期第3四半期 決算実績

	2017/3期 第3Q実績	2018/3期 第3Q実績	対前年同期 (増減額・率)	
営業収益	3,850	3,986	+135	+3.5%
営業利益	516	547	+31	+6.1%
償却前営業利益*	848	925	+76	+9.0%
経常利益	486	482	△4	△0.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	412	334	△77	△18.9%

(金額単位：億円)

*償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

決算実績ポイント

■ 営業収益

前年同期にあった、ハワイ事業における不動産売却、建設事業での大型工事の進捗・竣工がなくなったものの、東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与、東京ガーデンテラス紀尾井町における賃料収入の増加に加え、運輸収入の増加、(株)横浜アーナの連結子会社化により増収。

▶ 3ページ

■ 営業利益

増収による増益に加え、前年同期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことにより増益。

▶ 4ページ

<西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前年同期比+1.8% (定期+2.0%、定期外+1.7%)

▶ 9ページ

<ホテル業>

RevPAR 11,917円 (前年同期比+6.1%)

シティ12,821円 (同+5.4%)、リゾート10,017円 (同+6.0%)

▶ 11ページ

■ 経常利益

前年同期にNWコーポレーションにかかる持分法による投資利益の計上があったことなどにより減益。

▶ 22ページ

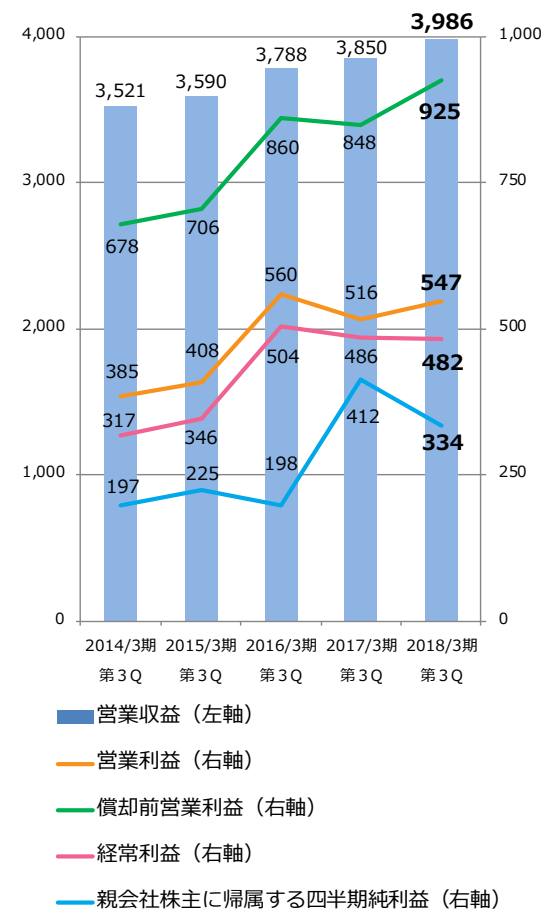
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記要因に加え、前年同期に土地売却にともなう固定資産売却益の計上があったことや、プリンスホテルにおける繰延税金資産の計上があったことなどにより、前年同期比△77億円。

▶ 21ページ

業績の推移

(金額単位：億円)



セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2017/3期 第3Q実績	2018/3期 第3Q実績	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	1,171	1,215	+43	+3.7%	鉄道業において、雇用情勢の堅調な推移やメットライフドームでのイベント開催および秩父エリアのプロモーション強化などにより定期旅客・定期外旅客ともに好調に推移したことや、(株)横浜アリーナの連結子会社化などにより増収。
ホテル・レジャー事業	1,421	1,542	+121	+8.5%	東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与のほか、RevPARが前年同期比で上昇したことなどにより増収。
不動産事業	398	467	+69	+17.3%	2016年7月に開業した東京ガーデンテラス紀尾井町の収益寄与や、西武立川駅前でのマンションと戸建住宅の販売などにより増収。
建設事業	768	712	△55	△7.2%	前年同期に大型工事の進捗・竣工があったことなどにより減収。
ハワイ事業	191	115	△75	△39.5%	マウナケアビーチホテル・ハプナビーチプリンスホテルが堅調に推移したものの、前年同期に不動産売却があったことや、プリンス ワイキキの稼働率の低下、為替レートの変動により減収。
その他	302	323	+20	+6.9%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施やクライマックスシリーズへの進出により観客動員数が増加したことなどにともない増収。
調整額	△403	△391	+12	—	
連結数値	3,850	3,986	+135	+3.5%	

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2017/3期 第3Q実績	2018/3期 第3Q実績	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	227	240	+13	+5.9%	鉄道業において運輸収入が好調に推移したことや、(株)横浜アリーナの連結子会社化などにより増益。
ホテル・レジャー事業	122	134	+12	+10.2%	戦略的な人員の増加や、新規事業に関連した販管費の増加など今後の成長に資する費用が増加したものの、増収により増益。
不動産事業	62	127	+64	+103.9%	増収による増益に加え、前年同期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことなどにより増益。
建設事業	46	36	△9	△20.9%	減収による減益。
ハワイ事業	49	△13	△63	—	前年同期に不動産売却があったことや、プリンスワイキキの減収により減益。
その他	16	22	+6	+36.2%	増収による増益。
調整額	△7	△0	+7	—	
連結数値	516	547	+31	+6.1%	

■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2017/3期 第3Q実績	2018/3期 第3Q実績	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	378	400	+22	+5.9%	
ホテル・レジャー事業	214	248	+33	+15.5%	
不動産事業	123	195	+72	+58.8%	
建設事業	49	39	△9	△19.5%	
ハワイ事業	62	1	△61	△97.4%	
その他	36	44	+8	+22.3%	
調整額	△15	△4	+10	—	
連結数値	848	925	+76	+9.0%	

I. エグゼクティブ・サマリー P2

**II. 2018年3月期第3四半期までの
主な取り組み P6**

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P21

V. 2018年3月期 業績予想 P25

2018年3月期第3四半期までの主な取り組み

全体

- ・新規事業分野の創出を目的とし、当社内に「西武ラボ」を新設、オープンイノベーションプログラム「Biz Lab Accelerator 2017」に参加
- ・訪日外国人向けの会員サービスプログラム「SEIBU PRINCE CLUB emi」のプリンスポイント加算サービス開始（2018年2月1日）

都市交通・沿線事業

- ・西武秩父駅のリニューアル工事が完了、「西武秩父駅前温泉 祭の湯」開業（2017年4月24日）
- ・新型特急車両の基本デザインを決定（2019年3月運行開始予定）
- ・西武新宿→拝島間に有料座席指定列車「拝島ライナー」導入（2018年3月10日導入予定）
- ・40000系車両が第11回キッズデザイン賞『内閣総理大臣賞』（最優秀賞）を受賞



40000系車両

ホテル・レジャー事業

- ・「東京プリンスホテル」「ザ・プリンス パークタワー東京」「グランドプリンスホテル京都」「大磯プリンスホテル」リニューアルオープン
- ・宿泊特化型新ブランドを「Prince Smart Inn」に決定（2020年3月期営業開始予定）
- ・会員制ホテル事業に参入、名称を「プリンス パケーション クラブ」に決定（2020年3月期開業予定）
- ・「StayWell Hospitality Group Pty Ltd」の事業取得を完了、運営開始（2017年10月4日）
- ・「名古屋プリンスホテル スカイツタワー」開業（2017年10月2日）



東京プリンスホテル 客室

不動産事業

- ・再開発プロジェクトの推進（グランエミオ所沢（I期2018年3月2日開業予定）、（仮称）西武鉄道池袋ビル（2019年春開業予定）など）
- ・（株）西武プロパティーズが、国道15号・品川駅西口駅前広場の整備に係る事業協力者に選定（2017年9月8日）



グランエミオ所沢 イメージ

ハワイ事業

- ・ハワイプリンスホテルワイキキの全面改装完了及び、ホテル名称を「プリンス ワイキキ」としてリニューアルオープン（2017年4月1日）
- ・「ハプナビーチプリンスホテル」が「ウェスティン」ブランドに加盟し、ホテル名称を「ウェスティン ハプナビーチ リゾート」として営業開始予定。全面改装は2018年6月完了予定。



メットライフドームエリアの改修
ボールパーク化 イメージ

その他

- ・メットライフドームエリアの改修工事着手（2021年3月竣工予定）
- ・守山駅前近江鉄道ビル「cocotto MORIYAMA」グランドオープン（2017年8月1日）

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期第3四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2018年3月期 業績予想	P25

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	117,185	121,538	+4,352	+3.7%	
鉄道業	78,315	79,349	+1,033	+1.3%	雇用情勢の堅調な推移やメットライフドームでのイベント開催および秩父エリアのプロモーション強化などにより定期旅客・定期外旅客ともに好調に推移し増収
バス業	19,369	19,568	+198	+1.0%	路線バスにおいてIC定期券が好調に推移したことなどにより増収
沿線レジャー業	15,688	16,791	+1,103	+7.0%	「西武秩父駅前温泉 祭の湯」の開業や、「としまえん」においてチケット単価が上昇したことなどにより増収
その他	3,812	5,829	+2,017	+52.9%	(株)横浜アリーナの連結子会社化により増収
営業利益	22,705	24,050	+1,344	+5.9%	鉄道業において運輸収入が好調に推移したことや、(株)横浜アリーナの連結子会社化などにより増
償却前営業利益	37,872	40,095	+2,223	+5.9%	益

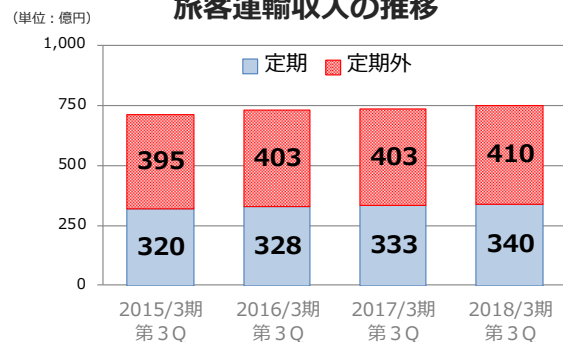
都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2015/3期 第3Q	2016/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2017/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2018/3期 第3Q	対前年同期 増減率
輸送人員	定期	294,911	+2.7%	307,539	+1.6%	313,424	+1.9%
	定期外	179,653	+2.1%	183,513	+0.0%	185,604	+1.1%
	計	474,565	+2.5%	491,053	+1.0%	499,029	+1.6%
旅客運輸 収入	定期	32,000	+2.6%	33,348	+1.6%	34,009	+2.0%
	定期外	39,555	+1.9%	40,343	+0.1%	41,015	+1.7%
	計	71,555	+2.2%	73,692	+0.8%	75,024	+1.8%
運輸雑収	3,062	3,109	+1.5%	2,987	△ 3.9%	2,986	△ 0.0%
収入合計	74,618	76,248	+2.2%	76,680	+0.6%	78,011	+1.7%

旅客運輸収入の推移



2018年2月8日

Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

■ 定期

雇用情勢の堅調な推移により増加

■ 定期外

メットライフドームでのイベント開催、秩父エリアの
プロモーション強化などにより増加

ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	142,145	154,279	+12,133	+8.5%	
ホテル業 (シティ)	79,735	90,758	+11,022	+13.8%	東京プリンスホテル、グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与により増収
ホテル業 (リゾート)	29,104	30,081	+977	+3.4%	一部事業所の改装にともなう営業休止の影響があったものの、稼働率の上昇によりRevPARが上昇し、食堂部門も好調に推移し増収
ゴルフ場業	10,606	10,959	+353	+3.3%	コンペの獲得や個人の集客などにより増収
その他	22,698	22,479	△219	△1.0%	
営業利益	12,209	13,451	+1,242	+10.2%	戦略的な人員の増加や、新規事業に関連した販管費の増加など今後の成長に資する費用が増加したものの、増収により増益
償却前営業利益	21,478	24,803	+3,325	+15.5%	

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

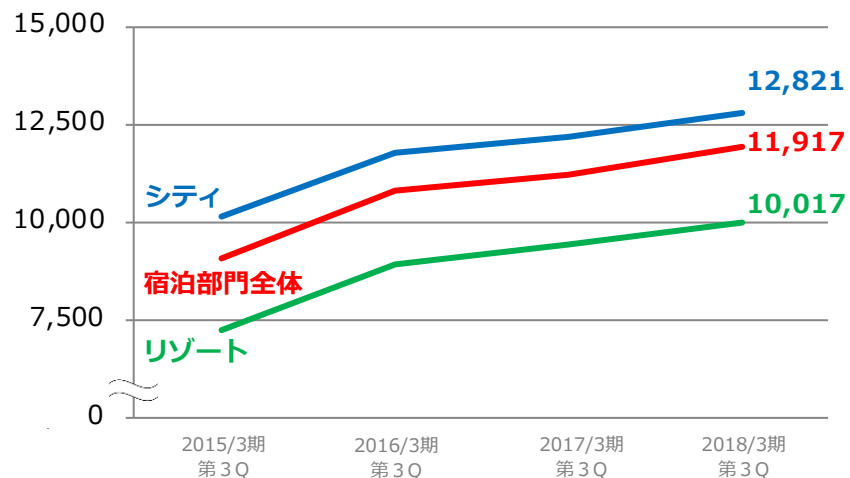
(RevPAR・平均販売室料：円)

		2015/3期 第3Q	2016/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2017/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2018/3期 第3Q	対前年同期 増減率
RevPAR	シティ	10,144	11,788	+16.2%	12,168	+3.2%	12,821	+5.4%
	高輪・品川エリア	10,558	12,522	+18.6%	13,073	+4.4%	13,263	+1.5%
	リゾート	7,229	8,910	+23.3%	9,449	+6.1%	10,017	+6.0%
	軽井沢エリア	17,472	19,896	+13.9%	19,848	△ 0.2%	21,174	+6.7%
	宿泊部門全体	9,090	10,817	+19.0%	11,228	+3.8%	11,917	+6.1%
平均販売室料	シティ	12,307	14,039	+14.1%	14,986	+6.7%	15,318	+2.2%
	高輪・品川エリア	12,286	14,306	+16.4%	14,929	+4.4%	14,954	+0.2%
	リゾート	14,990	16,062	+7.2%	16,453	+2.4%	16,400	△ 0.3%
	軽井沢エリア	31,757	32,191	+1.4%	31,476	△ 2.2%	32,756	+4.1%
	宿泊部門全体	12,974	14,548	+12.1%	15,385	+5.8%	15,597	+1.4%
客室稼働率	シティ	82.4%	84.0%	+1.5pt	81.2%	△ 2.8pt	83.7%	+2.5pt
	高輪・品川エリア	85.9%	87.5%	+1.6pt	87.6%	+0.0pt	88.7%	+1.1pt
	リゾート	48.2%	55.5%	+7.2pt	57.4%	+2.0pt	61.1%	+3.6pt
	軽井沢エリア	55.0%	61.8%	+6.8pt	63.1%	+1.3pt	64.6%	+1.6pt
	宿泊部門全体	70.1%	74.4%	+4.3pt	73.0%	△ 1.4pt	76.4%	+3.4pt

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

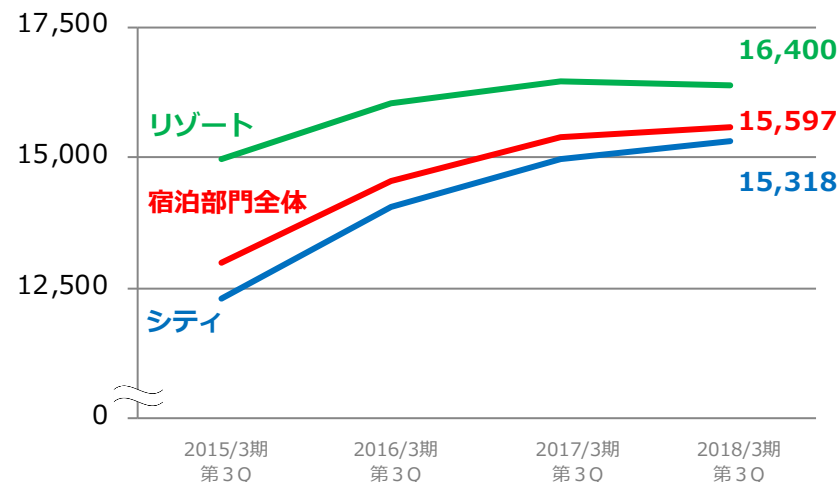
(単位：円)

RevPARの推移

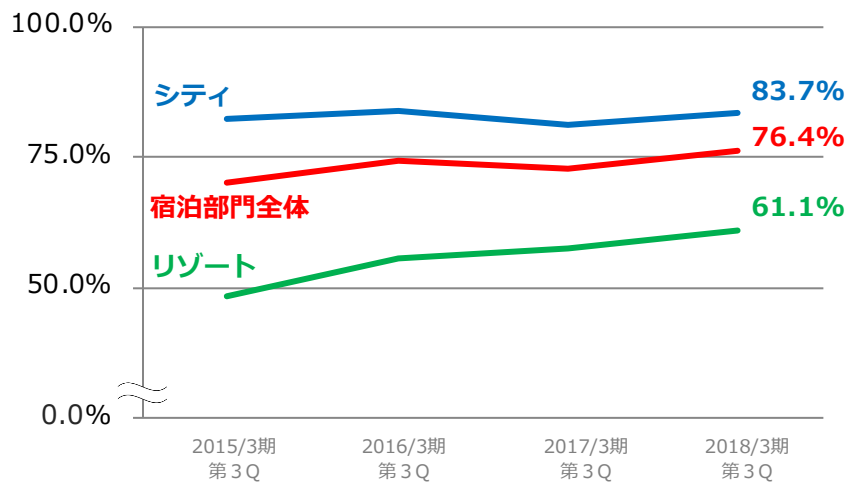


(単位：円)

平均販売室料の推移



客室稼働率の推移



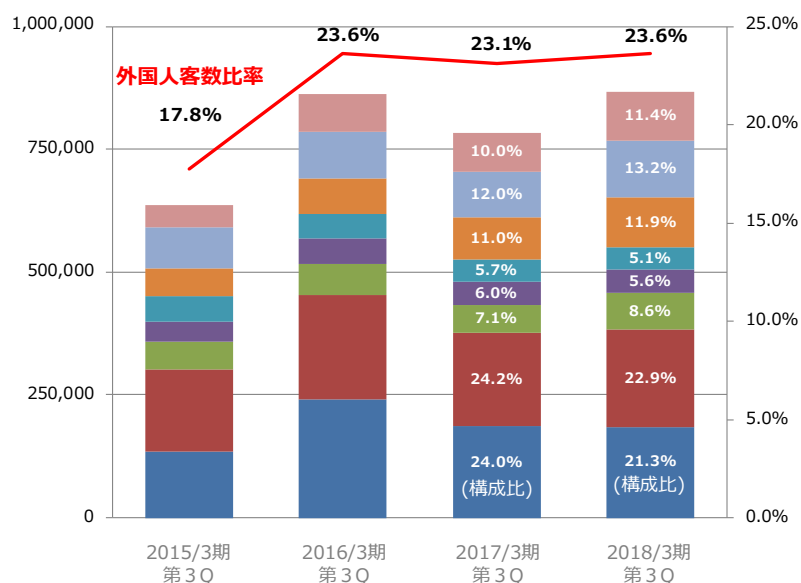
ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向 (宿泊客数・室料収入)

(人員単位：人、金額単位：百万円)

		2015/3期 第3Q	2016/3期 第3Q	対前年同期	2017/3期 第3Q	対前年同期	2018/3期 第3Q	対前年同期
宿泊客数 の内訳	邦人客	2,949,992	2,787,780	△ 162,212	2,608,091	△ 179,689	2,798,894	+ 190,803
	外国人客	637,394	863,253	+ 225,859	783,573	△ 79,680	866,607	+ 83,034
	計	3,587,386	3,651,033	+ 63,647	3,391,664	△ 259,369	3,665,501	+ 273,837
室料収入	外国人客	9,627	14,188	+ 4,561	14,111	△ 76	16,842	+ 2,730

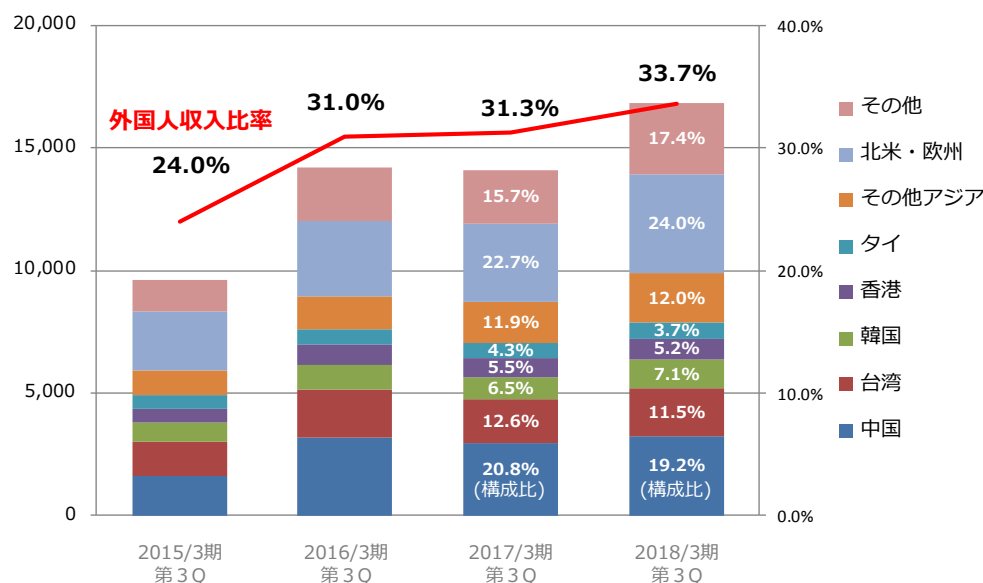
外国人宿泊客数・比率

(単位：人)



外国人室料収入・比率

(単位：百万円)

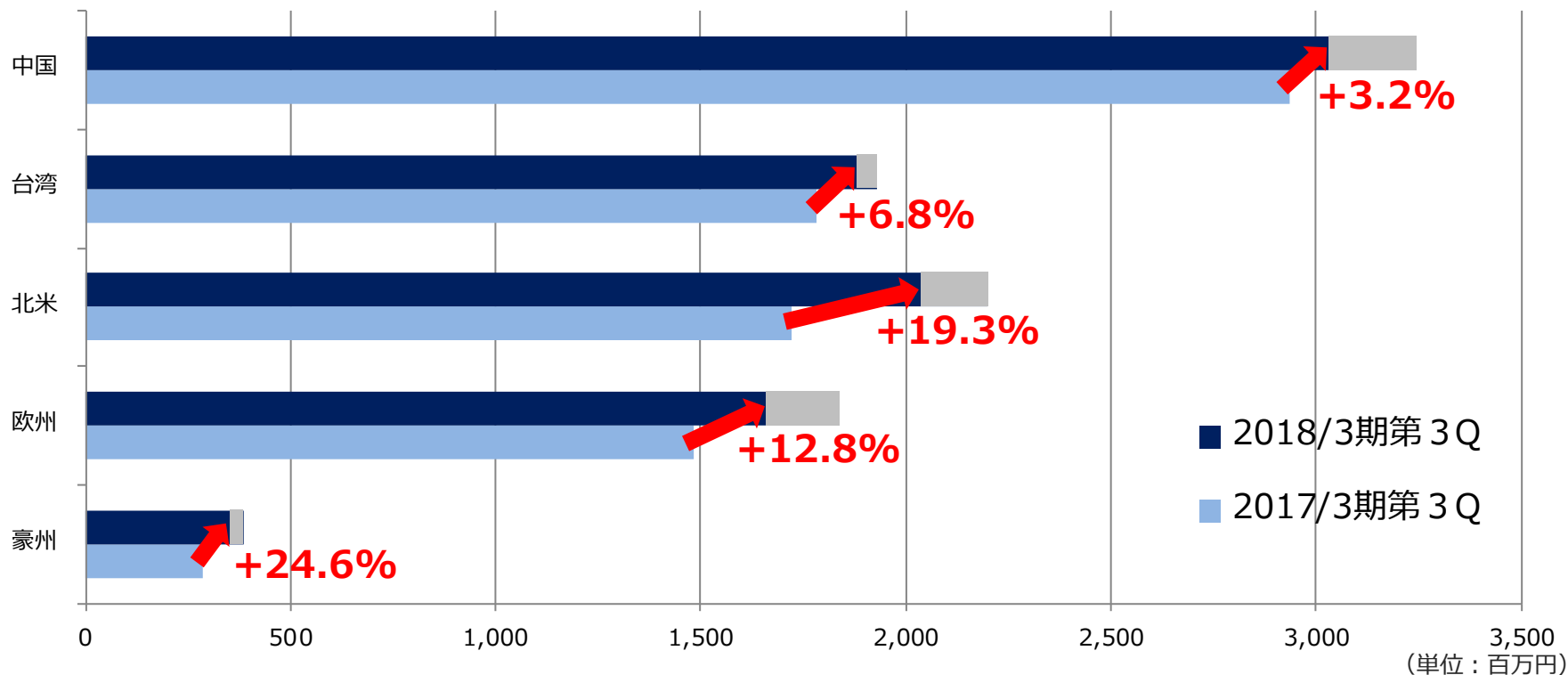


2018年 2月8日

Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

ホテル・レジャー事業 マーケットチェンジの状況

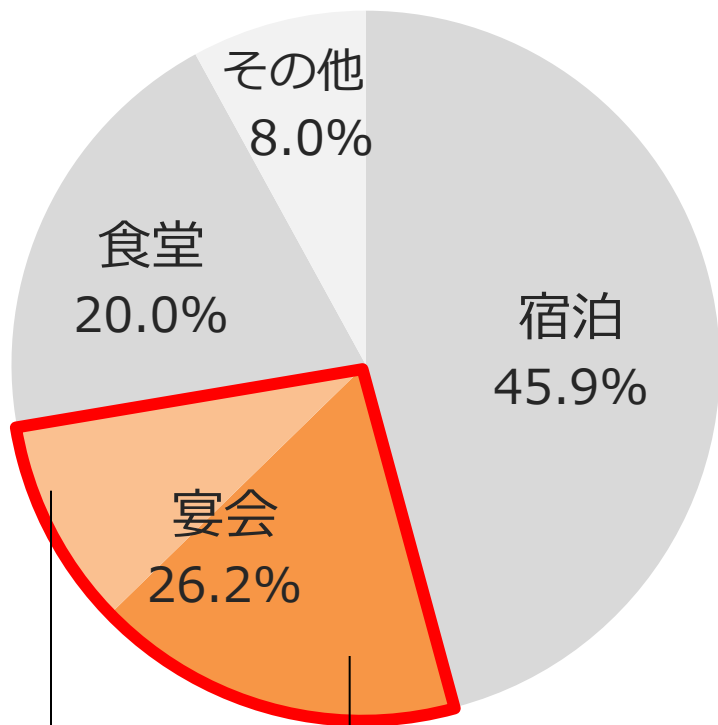
■ 主な国・地域の外国人室料収入 (耐震補強工事にとまなう営業休止の影響 (グラフ内の ■) を除いたベース)



北米、欧州、豪州など、より単価の高い地域が着実に増加

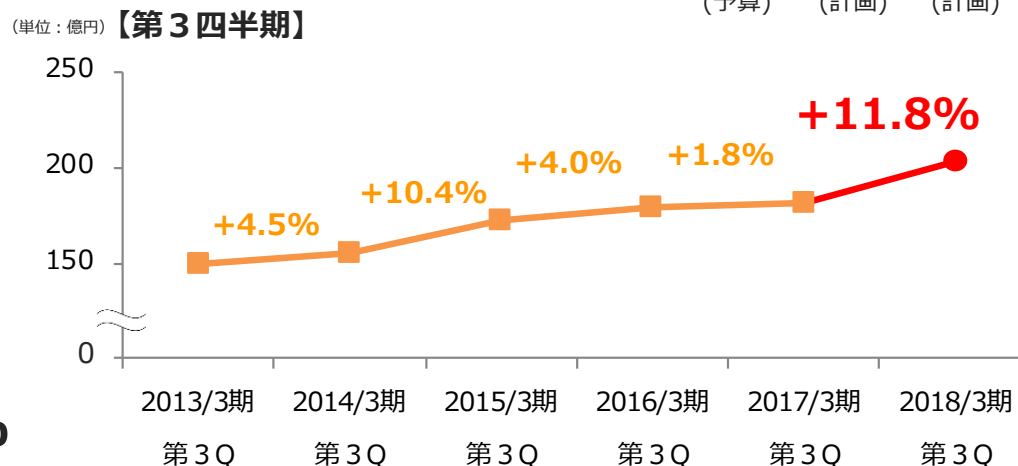
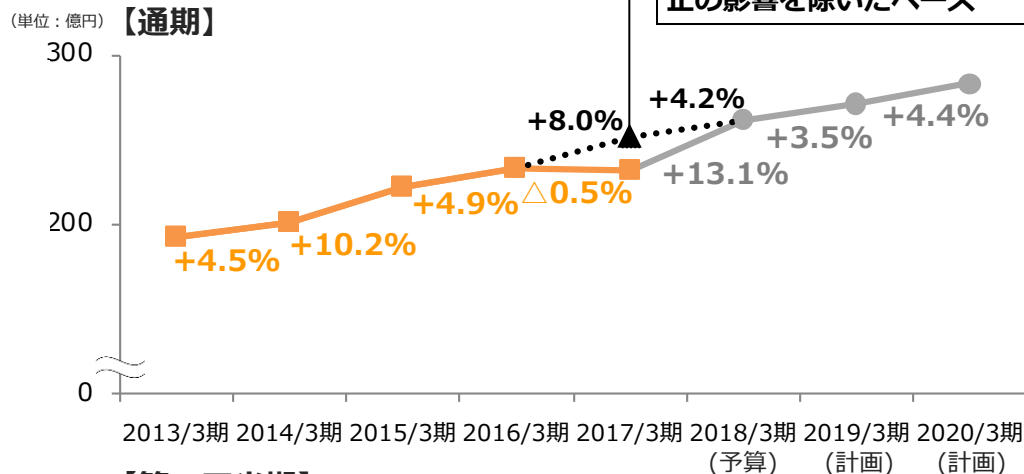
ホテル・レジャー事業 MICEの状況

■ ホテル業の売上高構成比 (2018年3月期第3Q)



ブライダル・
その他宴会 9.3% — **MICE 16.8%**

■ MICE売上高の推移



MICE売上高は増加トレンドが継続。企業のミーティング需要を着実に取込んでいるほか、東京プリンスホテル、グランドプリンスホテル高輪の営業再開も寄与。

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	39,854	46,763	+6,909	+17.3%	
不動産賃貸業	26,289	31,295	+5,006	+19.0%	2016年7月に開業した東京ガーデンテラス紀尾井町の収益寄与や賃貸住宅、軽井沢・プリンスショッピングプラザの好調などにより増収
その他	13,564	15,467	+1,902	+14.0%	西武立川駅前でのマンションと戸建住宅の販売により増収
営業利益	6,232	12,708	+6,476	+103.9%	増収による増益に加え、前年同期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことなどにより増益
償却前営業利益	12,322	19,571	+7,249	+58.8%	

(面積：千㎡)

		2015/3期 第3Q	2016/3期 第3Q	対前年同期	2017/3期 第3Q	対前年同期	2018/3期 第3Q	対前年同期
建物賃貸物件	商業施設	228	233	+5	237	+3	236	△1
の期末貸付面積	オフィス・住宅	57	59	+1	161	+102	171	+9
建物賃貸物件	商業施設	1.1%	1.2%	+0.1pt	0.7%	△0.5pt	1.2%	+0.5pt
の期末空室率	オフィス・住宅	6.6%	15.5%	+8.9pt	2.3%	△13.2pt	0.5%	△1.8pt

建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	76,846	71,291	△ 5,555	△ 7.2%	
建設業	57,198	52,424	△ 4,774	△ 8.3%	前年同期に大型工事の進捗・竣工があったことなどにより減収
その他	19,648	18,867	△ 781	△ 4.0%	造園請負工事の減少などにより減収
営業利益	4,627	3,661	△ 965	△ 20.9%	減収による減益
償却前営業利益	4,901	3,946	△ 955	△ 19.5%	

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第3Q	2016/3期 第3Q	対前年同期	2017/3期 第3Q	対前年同期	2018/3期 第3Q	対前年同期
期首繰越高	62,321	84,335	+22,014	99,069	+14,733	89,755	△ 9,313
期中受注高	63,926	56,172	△ 7,754	57,690	+1,518	58,331	+640
期末繰越高	77,613	89,913	+12,300	99,685	+9,772	95,839	△ 3,846

ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	19,144	11,581	△ 7,563	△ 39.5%	マウナケアビーチホテル・ハプナビーチプリンスホテルが堅調に推移したものの、前年同期に不動産売却があったことや、プリンス ワイキキの稼働率の低下、為替レートの変動により減収
営業利益	4,935	△ 1,398	△ 6,333	-	前年同期に不動産売却があったことや、プリンスワイキキの減収により減益
償却前営業利益	6,276	161	△ 6,115	△ 97.4%	

ホテルの営業指標

	2015/3期 第3Q	2016/3期 第3Q	対前年同期	2017/3期 第3Q	対前年同期	2018/3期 第3Q	対前年同期
RevPAR (円)	16,875	21,294	+4,419	19,100	△ 2,194	18,523	△ 577
RevPAR (米ドル)	165.44	177.75	+12.31	173.63	△ 4.12	176.41	+2.78
平均販売室料 (円)	23,354	28,612	+5,258	27,149	△ 1,463	29,832	+2,683
平均販売室料 (米ドル)	228.96	238.83	+9.87	246.81	+7.98	284.11	+37.30
客室稼働率	72.3%	74.4%	+2.1pt	70.4%	△ 4.0pt	62.1%	△ 8.3pt

その他 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	30,239	32,317	+2,078	+6.9%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施やク ライマックスシリーズへの進出により観客動員数 が増加したことなどにともない増収
営業利益	1,664	2,266	+602	+36.2%	増収による増益
償却前営業利益	3,601	4,406	+804	+22.3%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期第3四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2018年3月期 業績予想	P25

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期	摘要
営業収益	385,041	398,629	+13,587	都市交通・沿線：+43億円、ホテル・レジャー：+121億円、不動産：+69億円、建設：△55億円、ハワイ：△75億円、その他：+20億円
営業利益	51,601	54,726	+3,125	都市交通・沿線：+13億円、ホテル・レジャー：+12億円、不動産：+64億円、建設：△9億円、ハワイ：△63億円、その他：+6億円
営業外収益	5,913	2,397	△3,516	持分法による投資利益 △37億円
営業外費用	8,819	8,834	+15	
経常利益	48,695	48,289	△406	
特別利益	4,488	1,047	△3,441	固定資産売却益 △33億円
特別損失	2,489	2,498	+9	
税金等調整前四半期純利益	50,695	46,837	△3,857	
法人税等	9,323	12,816	+3,492	法人税、住民税及び事業税+14億円 法人税等調整額+20億円（前年同期：プリンスホテルにおける繰延税金資産の計上 △30億円）
四半期純利益	41,371	34,021	△7,350	
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	524	+432	(株)横浜アリーナの連結子会社化などによる増加
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,279	33,497	△7,782	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期	摘要
営業利益	51,601	54,726	+3,125	
営業外収益	5,913	2,397	△3,516	
受取利息・配当金	705	839	+133	
バス路線運行維持費補助金	342	369	+26	
持分法による投資利益	3,728	—	△3,728	前期：NWコーポレーションが持分法適用関連会社になったことにとまう計上
その他営業外収益	1,136	1,188	+52	
営業外費用	8,819	8,834	+15	
支払利息	8,002	8,008	+6	
持分法による投資損失	—	69	+69	
その他営業外費用	816	756	△60	
経常利益	48,695	48,289	△406	
特別利益	4,488	1,047	△3,441	
固定資産売却益	3,394	65	△3,329	前期：土地売却（新杉田）
工事負担金等受入額	18	91	+72	
補助金収入	316	119	△197	
投資有価証券売却益	0	5	+5	
受取補償金	—	744	+744	
その他特別利益	757	20	△737	
特別損失	2,489	2,498	+9	
減損損失	41	51	+10	
固定資産売却損	9	153	+143	
固定資産除却損	1,536	1,455	△81	
工事負担金等圧縮額	18	82	+64	
固定資産圧縮損	296	105	△191	
投資有価証券売却損	—	16	+16	
投資有価証券評価損	0	438	+438	
その他特別損失	586	194	△391	
税金等調整前四半期純利益	50,695	46,837	△3,857	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2017/3期 期末	2018/3期 第3Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,627,868	1,627,836	△ 31	
流動資産	126,702	111,600	△ 15,101	受取手形及び売掛金 △9,089 繰延税金資産 △2,575 その他 △3,893 (未取還付消費税の入金など)
固定資産	1,501,166	1,516,236	+15,069	有形・無形固定資産 +8,956 投資有価証券 +8,746 繰延税金資産 △1,332 退職給付に係る資産 △1,010
負債 合計	1,267,735	1,241,023	△ 26,712	
流動負債	366,590	319,556	△ 47,034	短期借入金 △20,514 支払手形及び買掛金 △7,077 その他 △18,383 (設備投資未払金等の減少)
固定負債	901,144	921,466	+20,321	長期借入金 +12,358 社債 +10,000 鉄道・運輸機構長期未払金 △2,547
純資産 合計	360,133	386,813	+26,680	利益剰余金 +25,117 その他有価証券評価差額金 +5,356 退職給付に係る調整累計額 △2,836 為替換算調整勘定 △1,911
有利子負債 期末残高	909,104	905,834	△ 3,270	
ネット有利子負債	880,032	876,925	△ 3,107	

I . エグゼクティブ・サマリー	P2
II . 2018年3月期第3四半期までの 主な取り組み	P6
III . セグメント情報及び営業指標	P8
IV . 決算実績詳細	P21
V . 2018年3月期 業績予想	P25

2018年3月期連結業績予想（期初予想と変更はございません）

2018年3月期 連結予想

（金額単位：億円）

	連結		都市交通・沿線事業		ホテル・レジャー事業		不動産事業		建設事業		ハワイ事業		その他		調整額	
		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期
営業収益	5,420	+ 5.9%	1,629	+ 4.1%	2,107	+ 11.8%	609	+ 13.3%	1,074	△ 6.6%	195	△ 15.8%	382	+ 2.6%	△ 576	—
営業利益	632	+ 1.2%	268	△ 0.0%	190	+ 34.8%	142	+ 80.0%	40	△ 59.3%	△ 4	—	3	△ 58.3%	△ 7	—
償却前営業利益	1,142	+ 5.6%	484	+ 1.9%	342	+ 26.8%	235	+ 45.1%	45	△ 55.9%	18	△ 70.2%	32	△ 5.0%	△ 14	—
経常利益	546	△ 5.0%														
親会社株主に帰属する 当期純利益	408	△ 14.2%														

（注）連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。